



地球の未来を考えました

人と環境にやさしい 取り組みと商品

環境にやさしい社会をめざし、再生原料を使用した
エコマーク認定の商品「パブリックシリーズ」、
破損食器の修復プラン「繕い」をご用意しました。
誰もが食と健康を楽しむ心豊かな暮らしのため、
三信化工だから出来ることを、全社一丸となって取り組んでいます。

環境への取り組み	320
パブリック・トレイ	321
新 パブリック箸	322
PEN樹脂製食器【E-エポカル】のリサイクル	322
パブリック強化磁器	323
繕い(つくろい)	324



人と環境にやさしい社会をめざし、 商品開発や教育活動をはじめ様々な取り組みを展開します。

三信化工は、食と健康を楽しむ心豊かな暮らしのために、環境への負荷の削減を考え、環境保全に全社で取り組んでいます。

その一つとして、2005年に給食食器業界で初めてISO14001:2004（環境マネジメントシステム規格）の認証を千葉工場にて取得しました。

また、高齢者など食事でも不便を感じられている方に、少しでも快適に食事をしていただくために必要な情報と技術の調査研究を、業界および官学連携で積極的に進めています。（食器におけるアクセシブルデザインの標準化に関する研究会）

今後も給食食器の製造を通じて、持続可能な社会を構築し、人と環境にやさしい商品の開発・提供につとめてまいります。



環境への取り組み

- | | |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2003 | ■ バイオマスプラスチック製食器を開発、農林水産省食堂にて試験使用される |
| 2004 | ■ R-PP樹脂製の「パブリック・トレイ」（エコマーク認定商品）を発売 |
| 2005 | ■ 「愛・地球博」のリターナブル食器としてバイオマスプラスチック製食器が採用され、レストランコーナーで使用される
■ R-PEN樹脂製の「パブリック・トレイ」、強化R-PEN樹脂製の「パブリック箸」（エコマーク認定商品）を発売
■ 千葉工場にてISO14001:2004の認証を取得 |
| 2006 | ■ バイオマスプラスチック製食器「コーンは〜と」を発売 |
| 2007 | ■ バイオマスプラスチック製食器「コーンは〜と」の耐久性に優れたシリーズを発売 |
| 2008 | ■ 強化R-PBT樹脂製「パブリック箸」（エコマーク認定商品）生産時にCO ₂ 排出量の少ない強化磁器「セラクレス」を発売
■ 「繕い（つくろい）」が、2008年度グッドデザイン賞、第2回キッズデザイン賞を受賞 |
| 2009 | ■ 経済産業省が主幹のカーボンフットプリント算定・表示試行事業、「商品種別算定基準（PCR：Product Category Rule）」づくりに参加し、食器（陶磁器製品および合成樹脂製品）の算定ルールへの認証を受ける（認定PCR番号：PA-AQ-01） |
| 2010 | ■ 食器業界初のカーボンフットプリント（CFP、CO ₂ 排出量表示）の使用が許諾、引き続き多数のアイテムについても許諾される
■ 日本初の「1回使用あたり」におけるCO ₂ 排出量表示が、CFP試行事業において使用が許諾される
■ 環境対策強化磁器「ミニクローバー」発売、CO ₂ 削減を実証 |
| 2011 | ■ 日本初のCO ₂ 「削減率」表示が、CFP試行事業において使用が許諾される
■ 自社自身によるCFP表示が可能な企業として認証を受ける（経済産業省システム認証実証実験）
■ 第8回LCA日本フォーラム表彰 奨励賞受賞
三信化工が連名で取り組む環境教育事業での受賞 |
| 2012 | ■ E-エポカル全製品においてCO ₂ 排出量を表示（CFPシステム認証による）
■ 第14回グリーン購入大賞 優秀賞受賞
三信化工が連名で取り組む環境教育事業での受賞 |
| 2013 | ■ 第4回キッズワークショップアワード 審査員特別賞受賞
三信化工発のワークショップ「われたらばずる」が、「エコが見える学校」の取り組みにおいて受賞 |
| 2014 | ■ 国内2番目の環境教育等支援団体として、三信化工が参加する「資源と環境の教育を考える会「エコが見える学校」」が指定される。（文化省および環境省、環境教育等促進法） |
| 2015 | ■ 食と文化を通じた環境への取り組みが、月刊「学校給食」に、特集記事として取り上げられる
■ 「エコが見える学校」…三信化工が展開する食・文化・環境の活動が、環境省の家庭環境強化推進事業の調査モデル事例となる |
| 2019 | ■ 取り組み継続中 |

カーボンフットプリント (CFP) とは？

商品の一生（原材料～生産～流通～使用～廃棄・リサイクルまで）の全過程を通じ、排出するCO₂量を表示したものです。

パブリックシリーズ

再生原料を使用した、
エコマーク認定の商品です

パブリックシリーズとは？

パブリックシリーズは、
回収した使用済み食器を
再生原料とした**エコマーク認定商品**です。
エコマークは、商品の生産から廃棄までの
ライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、
環境保全に役立つと認められた
商品につけられる環境ラベルです。
「第三者機関による審査によって
使用が認められる制度」として、
信頼性の高いマークです。

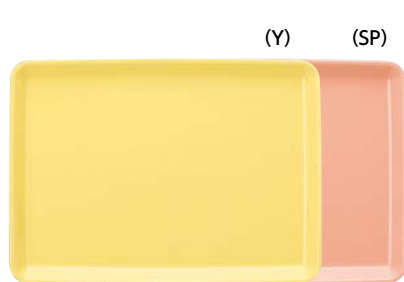


パブリック・トレイ R-PP製

ポリプロピレンの特性を活かした軽量で使いやすいトレイ
再生したポリプロピレン原料を使用しています。

⊗再生原料を使用しておりますので、強度・耐久性が若干劣ります。

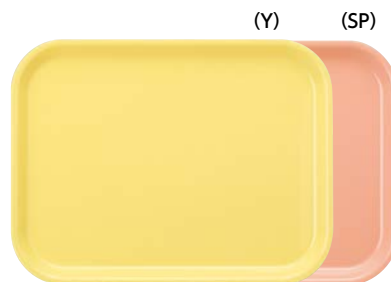
●イエロー (Y) ●サーモンピンク (SP)



受 RT-102 長方形
325 × 235 × 18 ¥880



受 RT-104 長方形
350 × 260 × 19 ¥1,020



受 RT-152 長方形
352 × 268 × 18 ¥1,140



環境商品

パブリックシリーズ

パブリック・トレイ R-PEN製

●パブリック・トレイ (R-PEN製) も特注対応しております。

ご検討の際は、最寄りの営業所にお問い合わせください。

⊗再生原料を使用しておりますので、強度・耐久性が若干劣ります。



パブリック箸 強化R-PEN製



再生材料を使用
再生プラスチック68%
エコマーク認定番号
第05128040号

資源を節約し、環境に優しいパブリック箸

学校等で使用されているE-エポカル (PEN樹脂製) を回収し再生した原料を、68%配合した強化R-PEN樹脂を使用してパブリック箸を作っています。

⊗再生原料を使用しておりますので、強度・耐久性が若干劣ります。

- 八角**
- ブラック (BK) ●ライトブルー (LBL) ●レモンイエロー (LY)
 - ライトサーモン (LS) ●アイボリー (IV)

POINT
転がりにくく扱いやすい八角箸。先端はシボ加工を施し食材をすべりにくくしました。

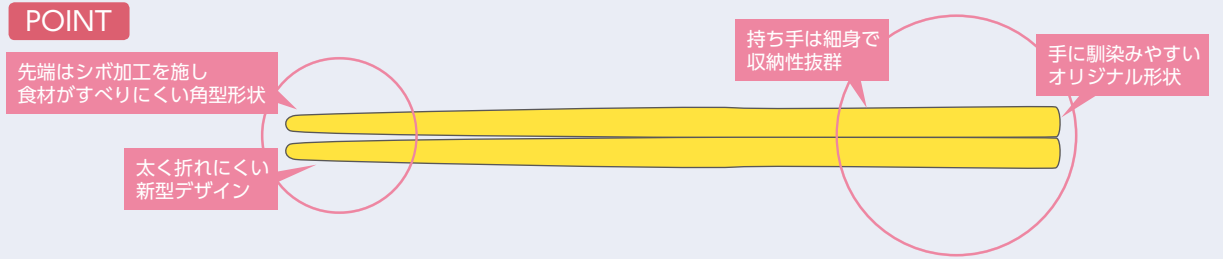
LOG TYPE (先が太めの箸です)



RH-205X はし 205mm ¥320



RH-185X はし 185mm ¥290



PEN樹脂製食器 【E-エポカル】のリサイクル R-PEN製

長期間使用され、ご不要となったPEN樹脂製食器『E-エポカル』を回収し、リサイクル活用することで、こどもたちが資源の大切さや環境について実感できる商品を開発しています。「環境」と「資源」と「人」のよりよい循環の環を未来につなげ、その可能性に挑戦し続けていくことがメーカーの責任であると考えています。



資源を大切に
みんなで Green を
飾りましょう

環境商品

パブリックシリーズ
PEN樹脂製食器「E-エポカル」のリサイクル

パブリック強化磁器



再生材料を使用
使用済み陶磁器15%以上

エコマーク認定番号
第05128027号

使用済の食器、破損した食器は、
パブリック強化磁器の原料としてリサイクル活用

強化磁器には、強度を上げるためにアルミナが配合されています。
この貴重な資源であるアルミナの有効活用と廃棄物の抑制のために、食器回収システムを構築しています。
回収した食器は、粉碎して15%以上配合した再生原料としてパブリック強化磁器に使用されます。

●パブリック強化磁器ができるまで



環境商品

パブリックシリーズ



オプションで、回収ボックス用のベルトを1箱につき1本用意しています。なお、ベルト単体での販売は致しておりません。

ECO-101 B 破損品回収ボックス
545 × 345 × 220・30 ℓ ¥4,500

繕い (つくろい)

繕い食器を通じ、エコロジー教育と食育を

「繕い」とは？

物の大切さや、伝統文化の認知、環境への意識向上を目的とした、**破損食器の修復プラン**です。
日本では昔から“もったいない”という**伝統**があり、物を直して使い続けるという「繕い(直し・継ぎ)」の文化がありました。
三信化工は破損食器をわざと見える形で修復し、現代なりの「繕い文化」を提案しています。
繕いを通じて、一つのを直しながら大事に使うことの大切さを伝えることは、**環境意識の教育**につながります。

欠け部分の形状を補填し、形状を整え、コーティング層を設けます。

この時、繕い部分があえてわかるように柄を施します。

繕いによる利点

- ◎繕いをするとう金属マーク等の汚れが綺麗に落ちます。
- ◎製品強度が新品に近づきます。



「繕い」は、グリーン購入法特定調達品目・役務(食堂)の配慮事項における、「**修繕することにより再使用可能な食器**」に対応しています。

「繕い」の修繕内容

縁欠け

5ミリ未満の縁欠けは修復可能で、最も綺麗に修繕できるパターンです。
大きく欠けた物も修復可能ですが、修復の跡が残ります。



擦れ・キズ・摩耗

擦れ・キズの跡はわからなくなります。金属マークも無くなります。

鳥足(放射状のひび)

2.5センチ程度(500円玉大)のひび割れは修復可能です。
強度も新品に近づきます。



●ご注意とお願い

- 「繕い」は、弊社製品について承ります。他社製品については釉薬や材質などが異なるため品質保証ができません。
- 「繕い」を行うことにより、濃い色・細かい柄の物は色あせ・柄のにじみが生じることがあります。
- ご送付いただいた強化磁器の中に修復不可能な物が含まれていた場合、修復可能な物についてのみ対応させていただきます。
- 梱包・送料はお客様のご負担でお願いいたします。輸送中に割れないように梱包してください。(1ケース80個程度が目安)
- 修復の個数は80個以上でお願いします。
- 費用等ご不明な点や、詳細につきましては、最寄りの営業所にお気軽にお問い合わせください。